

第3章 基本政策③ やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】

第2節 公共交通網

施策1 公共交通網の充実

基本計画
掲載頁 94～95

施策の 達成状況	B	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	路線バスの運行が困難な地域において、公共施設、病院等の利用者の利便性向上を図るため、コミュニティバスを運行し、利用者数も増加を図ることができた。 また、東武東上線改善対策協議会、武蔵野線旅客輸送改善対策協議会及び埼玉県を通じて各鉄道会社に対して要望活動を行うとともに、駅周辺における自転車等駐車場の適切な維持管理により、鉄道利用環境の向上を図ることができた。
			課題	コミュニティバスについて、全国的に運転士の不足が深刻化しているため、運行本数の見直しや路線の拡大が難しい状況にある。 鉄道やバス、タクシーなどの利便性と安全性を向上するため、駅やその周辺施設のバリアフリー化を進めていく必要がある。
今後の 方向性	II	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	全国的に深刻化しているバスやタクシー運転手の成り手不足や、2024年問題に対応しながらも持続可能な公共交通を実現するためには、地域公共交通計画の策定作業を進めながら解決策を見い出していく。 快適な公共交通手段の確保及び市内全体の移動利便性の向上を目指し地域公共交通ネットワークの整備を進めていく。

【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度※2	所管課
コミュニティバス利用者数	118,795人	154,221人					224,000人	A	交通政策課
交通安全教室実施回数・人数	21回1,790人	32回2,531人					41回4,000人	B	交通政策課

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。
※2 【達成状況評価について】A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：やや遅れ気味

主な施策展開の進捗状況

(1) 都市高速鉄道12号線の延伸	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
都市高速鉄道12号線の延伸の早期実現に向けて、関係機関との協議や新駅予定地周辺におけるまちづくりの検討を進めるとともに、地元の更なる機運醸成を図る取組を進めます。また、東京都の動向などの情報収集に努め、関係機関への効果的な働き掛けを行います。	B（おおむね順調）	新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する都市高速鉄道12号線延伸促進協議会を通じた延伸促進活動を行うとともに、市内関係団体代表者や地元選出議員等で構成する新座市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会を通じた延伸促進活動を行った。また、まちづくり構想の刷新に向けて、庁内の職員で結成したワークショップによる勉強会を行った。	まちづくり未来部	地下鉄12号線延伸促進室
(2) 鉄道利用環境の向上	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
鉄道の利便性を高めるため、東武東上線、JR武蔵野線、西武池袋線については、ダイヤの見直しや駅舎の改善などについて、鉄道事業者に働きかけます。	A（順調）	東武東上線改善対策協議会、武蔵野線旅客輸送改善対策協議会及び埼玉県を通じて各鉄道会社に対して要望活動を行った。	まちづくり未来部	交通政策課
駅利用者の利便性を確保するため、駅周辺の自転車駐車場やバイク駐車場の適切な維持管理に取り組みます。	A（順調）	駅周辺の放置自転車の誘発防止、街並みの美観維持を目的として設置している自転車等駐車場の維持管理を行った。また、有料自転車等駐車場については、かもめビルサービス・日駐研共同企業を指定管理者として、適切な維持管理を行った。	まちづくり未来部	交通政策課
(3) バス利用環境の向上	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
利用者のニーズを踏まえた運行本数の見直しや路線の拡大など、路線バスの輸送サービスの維持・拡充をバス事業者に働きかけます。	C（やや遅れている）	令和6年4月から適用となる厚生労働省によるバス運転士の労働時間等に関する改善基準告示の改正に伴い、全国的に運転士の不足が深刻化しているため、運行本数の見直しや路線の拡大等は難しい状況である。	まちづくり未来部	交通政策課
バス利用者の利便性や快適性を確保するため、バス停の屋根・ベンチの維持管理や増設、運行状況案内システムの設置をバス事業者に働きかけるとともに、バス停周辺の自転車置場の適切な維持管理に取り組みます。	B（おおむね順調）	市民からの要望等を受け、バス事業者に対し屋根・ベンチ等の設置を要望した。また、バス停周辺の自転車置場について、長期間利用されていない自転車を撤去するなど、適切な維持管理に努めた。	まちづくり未来部	交通政策課
快適な公共交通手段の確保及び市内全体の移動利便性を向上するため、まちづくりと一体となった、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を進めます。	A（順調）	新座市地域公共交通計画の策定に向けて法定協議会を整備・開催し、同計画の意義や必要性、今後のスケジュール、会議体の役割等について確認した。	まちづくり未来部	交通政策課
(4) バリアフリー化の推進	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
鉄道やバス、タクシーなどの利便性と安全性を向上するため、駅やその周辺施設のバリアフリー化を進めます。	C（やや遅れている）	近隣市におけるバリアフリー新法に基づく整備計画の策定状況等を調査し、本市におけるバリアフリー基本構想の策定を検討するため、研修会等に参加した。	まちづくり未来部	都市計画課